

第12回 環境法政策学会

Japan Association for Environmental Law and Policy

2008年6月14日（土）広島修道大学（広島市安佐南区大塚東1-1-1）

プログラム

9:30~12:00 分科会<個別報告> (5・6号館) <報告20分、コメント5分、質疑応答5分>

第一分科会 6号館6206教室

第二分科会 6号館6103教室

第三分科会 6号館6104教室

第四分科会 6号館6105教室

第五分科会 5号館5305教室

第六分科会 5号館5306教室

12:35~12:55 会員総会 (5号館-5102)

シンポジウム「生物多様性の保護—自然保護行政の新たな展開—」

(5号館-5102)

13:00~13:10 <あいさつ>広島修道大学学長 川本明人

13:10~15:20 <第1部 報告>

15:20~15:35 休憩

15:35~17:35 <第2部 パネルディスカッション>

18:15~ 懇親会（三井ガーデンホテル広島 白鳳の間）大学からバスで移動します
～会費 5,000円 当日会場でお支払いください～

*なお、理事会は大会前日の6月13日（金）18:00から三井ガーデンホテル広島にて開催

[注意事項とお知らせ]

- 1 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
- 2 大学周辺に食堂がないため、昼食弁当を販売します（当日申込み可能）
- 3 開催校への質問等は、下記宛にお願いします。
 - * F A X : 082-830-1950（広島修道大学人間環境学部 下村英嗣宛明記）
 - * メール : kankyo21@hotmail.co.jp
 - * アクセス : 大会会場には、便数が多い新交通システム「アストラムライン」をご利用ください（土曜日はバスの便数が極端に少なくなります）。
<http://www.shudo-u.ac.jp/9q8799000000pnc.html>で参照可能。

<環境三学会合同シンポジウム>

日 時 : 2008年6月15日（日）15:00~18:00

場 所 : 京都リサーチパーク・サイエンスホール（京都市下京区中堂寺栗田町93番地）

※JR嵯峨野線丹波口より徒歩5分 京都駅北側からタクシー10分

テーマ : 排出権取引の現状と課題 ※詳細は同封のパンフレット参照

環境法政策学会 第12回学術大会プログラム

《参加者等一部が変更になる可能性があります。》

【分科会】

第一分科会 ミニシンポ 生物多様性をめぐる国内対応

[6号館 6206教室 司会者：島山武道（上智大学）]

- ①自然再生法〔磯野弥生（東京経済大学）〕
- ②生物多様性の保全をめぐる訴訟〔大久保規子（大阪大学）〕
- ③瀬戸内の生物多様性（瀬の浦を含む）〔山田延廣（弁護士）〕
- ④自治体からみた里海と瀬戸内再生〔菊井順一（兵庫県環境管理局長）〕
- ⑤瀬戸内再生法（法制度）〔伊藤 浩（愛媛大学）〕

第二分科会 地球温暖化〔6号館 6103教室 司会者：浅野直人（福岡大学）〕

- ①電気事業における温暖化対策～規制緩和と市場メカニズムの中で～
〔報告者：兼平裕子（愛媛大学法学部）／コメンテーター：田邊朋行（電力中央研究所）〕（以下同様）
- ②発展途上国における森林減少からの温室効果ガス排出量の抑止（REDD）：国連気候変動枠組条約締約国会議における決議採択までの道程と今後の動向
〔小野貴子（国立環境研究所）／小林紀之（日本大学）〕
- ③「東京都気候変動対策方針」の先駆性に見る政策波及の可能性
—主要施策の政策課程における合意形成作用を手掛かりに—
〔青木一益（富山大学）／藤田八暉（久留米大学）〕
- ④パリ合意に見られる法的課題と将来枠組みへの法的示唆
〔木村ひとみ（地球環境戦略研究機関）／鶴田 順（海上保安大学校）〕
- ⑤気候変動問題に関する「持続的な開発・発展」論の一考察
〔中島清隆（広島市立大学）／浅野直人（福岡大学）〕

第三分科会 外国環境法〔6号館 6104教室 司会者：奥 真美（首都大学東京）〕

- ①英国における生物多様性の保護—欧米企業との比較による日本企業の取組み現状と課題
〔片山直子（兵庫県立大学）／奥 真美（首都大学東京）〕
- ②内モンゴル自治区の草原利用に関する法制度の現状と課題
〔娜 仁花（明治学院大学大学院）／奥田進一（拓殖大学）〕
- ③遺伝子組換え作物と一般栽培作物とは共存できるか—EUにおける取り組み
〔横山織江（三菱化学安全科学研究所）／坂口洋一（上智大学）〕
- ④中国における気候変動に関する法制度の動向
—97年省エネ法の改正（07年）と再生可能エネルギー法（05年）—
〔上杉信敬（山口大学）／北川秀樹（龍谷大学）〕

⑤ 米国環境行政における連邦による州の執行活動の監督

—オーバーファイリングの意義と可能性—

〔敬礼寺知佳（上智大学大学院）／及川敬貴（横浜国立大学）〕

第四分科会 国際環境法〔6号館 6105教室 司会者：岩間 徹（西南学院大学）〕

① 海洋生物資源管理 〔岡松暁子（法政大学）／井上秀典（明星大学）〕

② 国際環境条約の実施過程に関する一考察

〔久保はるか（甲南大学）／岩間 徹（西南学院大学）〕

③ 1970年代英国鯨類保護政策の表層と実際—国際捕鯨委員会と鯨類輸入規制措置を巡って

〔真田康弘（大阪大学）／古川 勉（岩手大学）〕

④ 予防原則の適用規則としての比例原則の意義

〔堀口健夫（北海道大学）／小山佳枝（中京大学）〕

⑤ 海洋環境保護とPSSA(特別敏感海域)—海域別規制を基盤とする関連保護措置とその限界

〔石橋可奈美（東京外国語大学）／野村摂雄（明治学院大学）〕

第五分科会 訴訟その他〔5号館 5305教室 司会者：淡路剛久（早稲田大学）〕

① マレーシア・サバ州における協働型公園管理手法の展開

〔谷口光太郎（国際協力機構・京都大学大学院）／加藤峰夫（横浜国立大学）〕

② 病像論再考—水俣病事件覚書

〔樺島博志（東北大学）／淡路剛久（早稲田大学）〕

③ 世紀のショー・ダウン！沖縄ジュゴン対米国国防省

—米国国家歴史保存法の域外適用に関する米国地裁命令の意義と射程について—

〔関根孝道（関西学院大学）／高橋満彦（富山大学）〕

④ 生物多様性保全オフセット制度の法的課題

〔宮崎正浩（跡見学園女子大学）／関根孝道（関西学院大学）〕

⑤ 中国環境公害訴訟の事例研究—福建省寧徳市屏南県のケース—

〔櫻井次郎（名古屋大学）／片岡直樹（東京経済大学）〕

第六分科会 国内環境法政策〔5号館 5306教室 司会者：柳 憲一郎（明治大学）〕

① 法案作成講座における化学物質政策基本法案

〔倉阪秀史（千葉大学）／大塚 直（早稲田大学）〕

② 環境賦課金の法ドグマーティク

〔島村 健（神戸大学）／松本和彦（大阪大学）〕

③ 水環境保全をめぐる政策統合（仮題）農業生産活動に由来する汚濁への対応を例として

〔内藤 悟（北海道大学大学院）／柳 憲一郎（明治大学）〕

④ 賠償資力不足が企業の注意水準に与える影響—企業の生産活動を考慮した分析—

〔桑名謹三（上智大学大学院）／倉阪秀史（千葉大学）〕

⑤ 食品廃棄物のリサイクルに関する法施策の提案

〔戸田博之（神戸大学法政策研究会）／小幡雅男（大阪学院大学）〕

【シンポジウム】 (5号館-5102)

【生物多様性の保護－自然保護行政の新たな展開－】

☆第1部 報告☆ 司会：後藤安子（神戸山手大学）、鶴田 順（海上保安大学校）

13:10～13:35 総括・総論：畠山武道（上智大学）

13:35～13:55 行政の立場から：堀内 洋（環境省）

13:55～14:20 国内環境法研究者の視点から： 交告尚史（東京大学）

14:20～14:45 国際環境法研究者の視点から： 磯崎博司（明治学院大学）

14:45～15:05 地方自治体法の立場から： 小川博司（広島県）

15:05～15:20 コメント： 磯部 力（立教大学）・加藤峰夫（横浜国立大学）

15:20～15:35 -----休憩（質問票回収）-----

☆第2部パネルディスカッション☆ 司会：加藤久和（名古屋大学）・磯野弥生（東京経済大学）

15:30～17:30

パネリスト：①畠山武道、②堀内 洋（環境省）、③交告尚史、④磯崎博司、⑤小川博司（広島県）、
⑥草刈秀紀（WWF ジャパン）、⑦関根孝道（弁護士）